

庄内こどもの杜幼稚園

年長組 劇あそび会

杜のお手伝い隊の様子 ⑨ 2/9



道具グループ

最後の活動ではリハーサルの振り返りとより良くするための方法を考えました。木の向きがわからない、上手に道具を出せていた等振り返るなかでうさぎ組の劇に出演するシーンについての話になり、塩飽先生に来てもらい話を聞きました。後ろまで声が届くように、そしてうさぎ組の子どもたちがゆくゆくできるように、大きく元気に声を出してほしいという要望を知るととても元気な声を出せるようになりました。ホールに移動して練習すると後ろで聞いていた子どもも「聞こえた!」「あ、ちい!」と太鼓判を押していました。またたんぽぽ組の劇で道具の裏側が見えないように運ぶ方法を皆で考えると早速練習。「ちょっと見えそう」「見えてない」と見せあひこし、運び方に悩んでいる友達には「こうしたらええぞ」とアドバイスしていました。より良く道具を出すためには「ちょっと走って人がいたから歩いて出そう」と皆で決めました。「道具を出す時は歩く!」が写真リハーサルの目標です。 木村



年下グループ

お手伝い隊の最後の活動! あとは写真リハーサル、本番を残すのみです。最後の活動は「ちらし作り」タイトル・クラス・開催日・作っ人を書いていきます。1部のこまご組は2部のちらしを。2部のひまわり組は1部のちらしを作りました。クラスごとに分かれて作業開始! 「これ書か!!」「そっ書か!!」とそれぞれ役割分担をしながら書いていきました。最後には写真選び。何枚かある写真の中から、いいな!と思う写真を3枚選んでね。と伝えると、しゅわしゅわ写真を見ながら選んでいきました。「ふん、これに何こ?」と聞いてみると「みんなの顔が映ってるから!」「上手に並べてるから!」「楽しそうなのがわかるから!」等は、子ども達なりに考えて選んでいきました。西リ方はどうするか、リュックに入れて持ち帰ってもらう。とよ、こののですが、



このように書いてもらいました。



かわいくおもしろい絵も!



それぞれのクラスの写真を選んでいます。



頑張ったからぐちゃぐちゃにされたら嫌だな。きれいに持って帰ってもらいたい。どの子ども達の思いがあります。放送を入れてお知らせするといことで解決。一生懸命から考えて自分たちが作りあげたもの。子ども達の愛情に溢るちらしになりました。 中川

☆司会グループ☆

お手伝い隊、最終日です。まず、子どもたちには、1回目のリハーサルについて聞いてみました。どのような返事が返ってくるかと思っていると、「先生、リハーサル、楽しかった!!」と答えてくれた子どもがほとんどでした。「緊張もしたけどなんか楽しかったわね」とのこと。子どもたちが楽しく舞台に立てくれたことに、とても嬉しく思いました。しかし、その中でも「でもなあ、と楽器が不安やねん」と言ってくる子どもいたので、今回は、その不安なところをみんなで練習することにしました。各クラスごと、そして各パートに分かれての部分練習を何回もして、その後はホールが空いているということで、ホールで合わせてみました。ゆっくりと練習をすることができたので、不安だった子どもも「自信ついてきた!!」「できそう!!」と言って舞台に立っていました。周りの子も「上手やん!」「できてるぞ」という声掛けをしている姿が見られました。「不安だ」「練習したい」と自分の苦手なことを言葉に出してみんなに伝えられたことに成長が感じられました。写真リハーサルも力を合わせて頑張りたいと思います。 (辻)

